



平成19年11月1日

各 位

会 社 名 日本道路株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長
 三 好 武 夫
 コード番号 1884 (東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役 執行役員 経理部長
 日 高 徹
 TEL (03) 3571 - 4051

中間業績予想の修正、特別損失の発生、および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成19年5月15日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間業績予想を修正いたしますとともに、当社の業務遂行の過程で生じた損害の発生が見込まれることにより特別損失を計上し、また繰延税金資産の一部取崩しを行うこととなりましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結中間業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月15日発表)	48,000	△ 1,650	△ 1,650	△ 1,300
今回修正予想 (B)	45,800	△ 1,200	△ 1,100	△ 1,150
増減額 (B - A)	△ 2,200	450	550	150
増減率 (%)	△ 4.6	—	—	—
前期実績 (平成19年3月中間期)	46,940	△ 1,978	△ 1,823	△ 2,824

2. 平成20年3月期 個別中間業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月15日発表)	42,000	△ 1,700	△ 1,700	△ 1,300
今回修正予想 (B)	39,300	△ 1,150	△ 1,000	△ 1,150
増減額 (B - A)	△ 2,700	550	700	150
増減率 (%)	△ 6.4	—	—	—
前期実績 (平成19年3月中間期)	41,049	△ 1,846	△ 1,690	△ 2,121

3. 平成20年3月期 連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成19年5月15日発表）	144,000	1,900	2,000	750
今回予想（B）	144,000	1,900	2,000	750
増減額（B－A）	－	－	－	－
増減率（％）	－	－	－	－
前期実績（平成19年3月期）	144,911	2,108	2,588	△ 797

4. 平成20年3月期 個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成19年5月15日発表）	129,000	1,600	1,700	550
今回予想（B）	129,000	1,600	1,700	550
増減額（B－A）	－	－	－	－
増減率（％）	－	－	－	－
前期実績（平成19年3月期）	130,553	2,146	2,524	△ 348

5. 理由

中間期（連結・個別）

政府建設投資の漸減の影響が続く厳しい経営環境の中で、当社グループは積極的な受注量の確保と利益創出に取り組んでまいりました結果、平成20年3月期の中間期（連結・個別）の営業利益、および経常利益は前回公表予想額を上回り、下記貸倒引当金繰入額118百万円を特別損失（個別）に計上し、繰延税金資産の取崩し242百万円を法人税等調整額に計上する予定であり、中間純利益（連結・個別）は前回公表予想額をやや上回る見込みであります。

通期（連結・個別）

下半期の国内建設投資は減少を続ける見通しであり、さらに原油価格の高騰により舗装材料の主要材料であるアスファルトおよびその製造燃料である重油等の販売価格が上昇することが予想されるため、通期の業績予想は前回公表予想額通りといたしました。

6. 特別損失の発生およびその内容

当社におきまして、連結子会社に対する債権等の回収可能性を個別に精査した結果、一部の連結子会社に対する貸倒引当金繰入額118百万円を特別損失に計上する予定であります。

7. 繰延税金資産の取崩し

当社が計上しておりました繰延税金資産の回収可能性について、財務の健全性の観点から慎重に検討し、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に242百万円を計上する予定であります。

(注) 上記予想数値は、本資料の公表日現在において把握できた情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

以 上